

この領域は事務局使用
縦 5 行×横 12 文字
(10.5P)

肺炎予防への取り組み

要介護者を取り巻く環境と肺炎の関連性について

室温管理

湿度管理

口腔管理

福岡県 糸島市

特養 特別養護老人ホーム マイネスハウス

生活相談員・菅沼亮太

すがぬま りょうた

太田 理絵

太田 千恵

E-mail Address : info@m-h.jp Fax 番号:092-329-1504

今回の発表の施設
またはサービスの
概要 9p

社会福祉法人 千草会は、福岡市と糸島市にあり、本部は糸島市で9事業所あります。今回の発表の施設は、糸島市の雷山のふもとにあります特別養護老人ホーム マイネスハウスです。

<取り組んだ課題>

- ① 特養は介護老人福祉施設であり、名前のとおり、多くの高齢者が生活している場である。これらの高齢者が抱えている老化現象や認知症などの疾病は摂食機能や嚥下機能など身体の基本的動作に多大な影響を及ぼす為、肺炎になるリスクを増大させる。
- ② 日本の肺炎による死亡率は 97.5%を 65 歳以上が占め、肺炎の多くは誤嚥の関与があるといわれている。
- ③ 肺炎の発症、経過、治癒におけるどの過程においても身体の免疫力が大いに影響を及ぼすことが言われている。
- ④ ①～③を踏まえ、入居者様が安心して安全に生活していけるため、肺炎を予防するにはどのような環境や介護技術が必要か明確にすることを課題とした。

<具体的な取り組み>

(対象者)

特養入居者 50 名

(具体的内容)

- ①入居者の体温維持の為に室温・湿度管理
- ②足浴実施、冬季の寝具内湯たんば設置
- ③口腔ケアの環境整備

口腔ケア用品の適切な選択・消毒、管理・手技

(評価方法)

- ①肺炎発症率の分析
- ②肺炎罹患率の年次推移分析
- ③足浴効果の分析
- ④口腔清掃効果の分析
- ⑤感染症入居者の動向

<活動の成果と評価>

- ①当施設の様々な疾病での受診率中、肺炎での受診率は 20.6%であり、そのうち誤嚥性肺炎は 14%と低かった。
- ②環境整備が完了した平成 26 年 1 月より肺炎罹患率が大幅に減少した。
- ③足浴は入眠時間に対する効果には有意な差は認められなかったが、精神的安定には良い影響が見られた。
- ④正しい口腔ケア用品を用い、栄養コントロールを行うことでMRSAや緑膿菌などの感染症がゼロになった。
- ⑤当施設が取り組んだ室温・湿度の管理や口腔ケアが肺炎へのリスクを回避し、肺炎予防に役立っていることを再認識出来た。

<今後の課題>

施設の年数が経つにつれ、個々の介護職の介護に対する姿勢や学ぶことへの熱意に違いがあること、職員の入れ替わり等もある中で、当施設が目指すケアのレベルに違いが出ないように、今後、現場職員全員が同一の手技・手法が出来る様に繰り返し繰り返し伝達・指導していくことが今後の課題である。「継続は力」である。

<参考資料など>

- ・安保徹著 「体温免疫力」
- ・美和千尋，島崎博也，出口晃，鈴木恵理，川村陽一，前田一範，森康則．足浴時の自律神経機能の変化と加齢の影響．

他